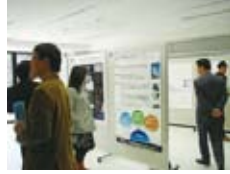


平成19年度 ライフサイエンス分野融合会議 参加報告

「平成19年度ライフサイエンス分野融合会議・ライフサイエンス部会バイオテクノロジー分科会合同研究発表会」が1月31日から2月1日にかけて産業技術総合研究所つくばセンター共用講堂で開催され、CBRCは10件のポスター発表を行いました。



Biohackathon 2008

情報・システム研究機構ライフサイエンス統合データベースセンターとの共催で、2月12日(火)~15日(金)に「Biohackathon 2008」がCBRCで開催されました。海外11カ国33名を含む総勢60名の参加者により活発な意見交換が行われました。



平成20年度「バイオインフォマティクス速習コースI」のご案内

生命情報科学技術者養成コースの平成20年度実施内容が決定しました。バイオインフォマティクス速習コースIは4月14日(月)から受講生募集を開始します。詳細⇒<http://training.cbrc.jp/>

人事異動

- 【新規採用】・田代 俊行 (テクニカルスタッフ) (1/29 付)
 ・有田 正規 (招聘研究員) (4/1 付)
 ・今井 賢一郎 (配列解析チーム 産総研特別研究員) (4/1 付)
 ・山田 真介 (分子機能計算チーム 産総研特別研究員) (4/1 付)
 ・森岡 涼子 (生体ネットワークチーム 産総研特別研究員) (4/1 付)
 ・中津井 雅彦 (生体ネットワークチーム 産総研特別研究員) (4/1 付)
 ・千葉 啓和 (細胞機能設計チーム テクニカルスタッフ) (4/1 付)
 ・吉本 瑛梨 (細胞機能設計チーム テクニカルスタッフ) (4/1 付)
- 【所内異動】・横田 恭宣 (分子機能計算チーム 産総研特別研究員) (4/1 付)
- 【退職】・岡田 吉史 (細胞機能設計チーム 産総研特別研究員
 →室蘭工業大学 情報工学科 助教) (3/31 付)
 ・中川 善一 (細胞機能設計チーム 技振協フェロー
 →京都大学化学研究所バイオインフォマティクスセンター) (3/31 付)

成果紹介

(最近の成果の中から選んだものを掲載しています。)

【論文】

- Gromiha, M.M., Yabuki, Y., Suwa, M.: "TMB finding pipeline: novel approach for detecting beta-barrel membrane proteins in genomic sequences", *J Chem Inf Model*, **47**(6), pp.2456-2461.
- Okada, Y., Fujibuchi, W.: "Mining a Large-scale Microarray Database for Similar Gene Expression Modules to Find Distant Relationships between Down Syndrome and Huntington's Disease", *CAMDA07*.
- Gromiha, M.M., Suwa, M.: "Current developments on beta-barrel membrane proteins: sequence and structure analysis, discrimination and prediction", *Curr Protein Pept Sci*, **8**(6), pp.580-599.
- Kaneiwa, K., Iwazume, M., Fukuda, K.: "An Upper Ontology for Event Classifications and Relations", *Proc. of AI2007, Lecture Notes in Computer Science*, pp.394-403

- 1 趣味や自己紹介など
- 2 研究内容や抱負

鮫島 葉月

Hazuki SAMEJIMA

創薬分子設計チーム
共同研究



- 1 「本」と「喫茶店めぐり」と「猫」が好きです。単にのんびりしているのが趣味なのかもしれません。
- 2 元々はテーラーメイド医療の為に薬剤代謝遺伝子解析に携わってきました。未熟ながら創薬分野という新しいフィールドで、頑張りたいと思っています。

平木 愛子

Aiko HIRAKI

細胞機能設計チーム
テクニカルスタッフ



- 1 旅行や食べ歩きが大好きで、美味しいものと時間を皆で楽しく共有出来た時、幸せを感じます。
- 2 酵素触媒機構データベース(EzCatDB)のアノテーションを行っています。マルチなアノテーターになって、生命の起源を解明する一端を担う事が大きな夢です。

迫田 絵理

Eri SAKOTA

RNA情報工学チーム
テクニカルスタッフ



- 1 趣味はスキー、ダイビング、ドライブです。また、英語が苦手なのに海外の世界遺産巡りも好きです。
- 2 今までウェットのラボで機能性RNA研究をしていました。今度は、ゲノム配列から最先端のデータベースを用いて新規の機能性RNAを発見することが目標です。

+ 編集後記 +

画家 Georgia O'Keeffe に憧れて Santa Fe を旅したことを思い出します。褐色の土地に独特の景観、歴史と芸術が溢れかえる街。"Anywhere USA" を嫌い独自のスタイルを確立した住民、その土地に集う芸術家達、その芸術を求めてまた集う人々。人々の想いを感じる旅でした。理想ある人々が理想ある人々を呼び、何かを作り出していく様子は CBRC も同じ。旅への懐古とともに仕事への誇りも感じながら、気持ちもすっきり春を迎えています。

CBRCニューズレター第23号 (2008年4月1日発行)

禁無断転載

[編集発行]

技術を社会へ
Integration for Innovation



独立行政法人
産業技術総合研究所

生命情報工学研究センター

〒135-0064 東京都江東区青海2-42 産総研臨海副都心センター別館 バイオ・IT融合研究棟

TEL:03-3599-8080(代表) FAX:03-3599-8081 E-MAIL:info@cbrc.jp <http://www.cbrc.jp/>